

サービスロボット事業化交流会 2026年度第1回 全体交流会

※今回は会員以外の方も参加可能です。お気軽にご参加ください。

ロボット事業を加速させる新たなチャレンジ ～ 事業化を後押しする様々な取り組み紹介 ～

日時

2026年6月23日(火曜日) 15:00 ~ 17:20
その後、リアル会場では懇親会を開催(17:30~18:30)

場所

第1部 : テレコムセンタービル2FまたはTeams Webinar(同時開催)
第2部 : テレコムセンタービル2F キッチン青海珈琲
リアル/WEBのいずれの参加でも[申し込み](#)をお願いいたします。

第1部

【1】事業化を後押しする組織・取り組み

- ・中小企業基盤整備機構 中小機構の販路開拓/事業化支援について
中小企業基盤整備機構関東本部 支援推進課/企業支援課
- ・東京都中小企業振興公社 事業概要のご紹介/「TUS」事業紹介
公益財団法人東京都中小企業振興公社 企画課/創業支援課
- ・東京都立産業技術研究センターロボット技術G 事業化推進事例
東京都立産業技術研究センター 情報システム技術部ロボット技術グループ

【2】技術グループの取り組み

- ・組織: 製品の「心地よさ」を科学的に評価する生活工学センターのご案内
- ・新評価設備: エレベーター連携評価設備の紹介
- ・OnGoing研究テーマ: 段差乗り越え性能を飛躍的に向上させた
ト一角度可変機構を備えたメカナムホイールロボット研究報告

【3】新メンバー紹介

【4】今年度の交流会の取組み

第2部

懇親会(キッチン青海珈琲) 会費1500円 ※現金支払いのみ)

申込

参加費: 第1部全体会議参加 無料 / 第2部懇親会参加 有料
[お申し込みはこちら](#)

【1】事業化を後押しする組織・取り組み

プログラム順に記載

中小機構

中小機構の販路開拓/事業化支援について ジェグテック



独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)では、中小企業者の皆様にご活用いただける 販路開拓・事業化に関する支援策をご案内しております。

■販路開拓支援

・J-GoodTech(ジェグテック)

中小企業と国内外の企業をつなぐビジネスマッチングサイト

プレゼンター:独立行政法人 中小企業基盤整備機構

関東本部 支援推進課

濱田 百々花氏 ・竹本 裕一氏(アドバイザー)

中小機構

中小機構の販路開拓/事業化支援について ハンズオン支援事業



■事業化支援

優れた新製品・新技術・新サービスを持ちながら、単独での販路開拓が困難な中小企業の皆様を対象として、首都圏市場へのアプローチを側面から支援いたします。

・ハンズオン支援事業(テストマーケティング)

新市場・新分野へのテストマーケティングのみならず、テストマーケティングに向けたマーケティング企画のブラッシュアップから、テストマーケティング後の課題への対応までを、専門家がトータル伴走支援

プレゼンター:独立行政法人 中小企業基盤整備機構

関東本部 企業支援課

吉川 史記氏

【1】事業化を後押しする組織・取り組み

振興公社

プログラム順に記載

東京都中小企業振興公社 事業概要のご紹介



東京都の政策連携団体として、都内中小企業に対する総合的・中核的な支援機関として各種支援事業を提供しております。企業の成長ステージに合わせた100を超える支援メニューの多くを、無料でご利用いただけます。

本交流会では助成金(補助金)に加え、各種相談、販路開拓(国内・海外)、人材支援、知的財産等のテーマに沿って、主な支援事業をご紹介します。

プレゼンター:公益財団法人東京都中小企業振興公社
企画課 課長代理(広報担当)
吉井 明之氏

振興公社

TOKYO UPGRADE SQUARE 「TUS」事業紹介

**TOKYO
UPGRADE
SQUARE**

TOKYO UPGRADE SQUAREは、都内の行政機関が課題を発信し、その課題を解決できるスタートアップとの連携を、多様な側面から支援する拠点です。

スタートアップの成長に資するセミナー・イベントの開催や、スタートアップの経営相談、2年間に渡り重点的に支援する「スタートアップメンバープラス」など、多彩な事業を展開しています。当日は、実際に官民協働へと至った成功事例もご紹介します。

プレゼンター:公益財団法人東京都中小企業振興公社
創業支援課 課長代理(創業支援担当)
山本 法子氏

【1】事業化を後押しする組織・取り組み

都産技研

プログラム順に記載

ロボット技術G・交流会での事業化推進事例

 サービスロボット事業化交流会

ロボット技術グループ・交流会で取り組んできた以下の事業化支援事例を紹介します。都産技研での事業化支援の活動を知っていただき、今後の相談のご参考にしてください。

- 公募型研究開発の利用に関して
- 実証実験・ニーズ探査のための行政連携事例
- 新規商材の事業化推進取り組み
- 展示会事例(サービスロボット交流会会員企業事例)

プレゼンター:情報システム技術部 ロボット技術グループ
高山 哲

【2】技術グループの取り組み

都産技研

プログラム順に記載

製品の「心地よさ」を科学的に評価する 「生活工学センター」のご案内



都産技研はこの4月に「生活工学センター」を開設しました。同センターでは、温熱・香り・音・光といった感覚に製品がもたらす「心地よさ」を科学的に計測・評価する開発支援を行います。今回の講演では、生活関連製品の感覚計測・評価などの開発支援について紹介します。

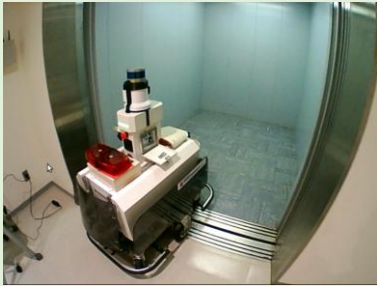
プレゼンター:情報システム技術部 生活工学センター
センター長 中村 健太

【2】技術グループの取り組み

都産技研

プログラム順に記載

ロボット・エレベータ連携設備のご紹介



配送ロボットや清掃ロボットなどの移動ロボットの稼働率向上には、エレベータ等の建物設備との連携が不可欠です。そこで都産技研では、ロボットが階層間を移動する際に必要となる開発・検証フィールドとして、ロボット・エレベータ連携設備を構築いたしました。本発表では、本設備を活用して実施可能な検証内容と、今後のご利用方法について紹介します。

プレゼンター:情報システム技術部 ロボット技術グループ
グループ長 武田 有志

都産技研

段差乗り越え性能を飛躍的に向上させた ト一角度可変機構を備えたメカナムホイールロボット



全方向移動ロボット
「Cable X」

建設現場では、人手不足を背景に搬送作業の自動化が求められています。しかし多くの現場では床に段差や継ぎ目があり、また、狭い場所での移動が必要であるため、従来の搬送ロボットでは対応できないケースがありました。

そこで、メカナムホイールを用いた全方向移動ロボットの段差克服に取り組みました。本ロボットは、ト一角を変える機能を有しており、同じ車輪径のロボットに比べて段差乗り越え性能を大幅に向上しています。

プレゼンター:情報システム技術部 ロボット技術グループ
副主任研究員 萩原 颯人

【3】新メンバー紹介

都産技研

プログラム順に記載

 サービスロボット事業化交流会

2025年10月～2026年3月加入 :10社

(新規会員様による自社企業のご紹介を行います。
本資料では、会員企業名は非公開で発信しております。)

【4】26年度 今年度の交流会の取組み

都産技研

 サービスロボット事業化交流会

今年度の交流会の取組み

サービスロボット事業化交流会 事務局

第2部 懇親会

たくさんの皆様とお知り合いになれます。
交流会・懇親会がきっかけで、ビジネススタートされた企業様もございます。
是非、懇親会にもご参加ください。
お飲み物と簡単なお食事をご用意させていただいております。
会費・1500円/人(現金のみ)

場所:キッチン青海珈琲(テレコムセンター2F 入口右)



前回のご様子

